

【整形外科】

痛風について

国吉病院

医師 谷脇 祥通 さん

打撲や捻挫などをしていないのに、足の親指の付け根が急に赤く腫れて痛くなることがあります。暴飲暴食した翌朝などに多く、風が吹いても痛いということで痛風と呼ばれます。足首や膝、手首などに起こることもあり、痛風結節というしこりができることもあります。生活習慣や体質によって腎臓から尿酸を排出する機能が低下し

たり、暴飲暴食・肥満・激しい運動などにより血液中の尿酸値が上昇します。尿酸値が上昇し過飽和になると、関節内に尿酸の結晶ができて関節炎を生じます。これが痛風発作です。発作時には消炎鎮痛剤の内服やステロイド注射などの治療を行います。肉類やアルコールを控え、野菜を多く取る食生活に切り換える必要があります。



す。また定期的に血液検査を行い、薬物治療で尿酸値をコントロールする必要があります。発作が起きないからといって薬を勝手にやめると再発作が起きたり、腎機能が徐々に悪化する場合がありますので、定期的な受診が必要です。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他